

◆令和3年度 第1回岐阜連携都市圏ビジョン懇談会 開催概要

日 時	令和3年10月15日(金曜日) 午後2時00分から午後2分50分まで
場 所	※Web会議として開催
議 題	・岐阜連携都市圏への羽島市の加入について ・岐阜連携都市圏ビジョンの第4回改定(案)について
出席委員	座 長 福士 秀人 (国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学) 副座長 徳広 圭子 (岐阜聖徳学園大学短期大学部) 委 員 岩井 浩司 (株式会社十六銀行) 委 員 川瀬 勝義 (岐阜信用金庫) 委 員 川合 宗次 (社会福祉法人岐阜羽島ボランティア協会) 委 員 神原 義典 (山縣市PTA連合会) 委 員 林 直樹 (公益社団法人岐阜県バス協会) 委 員 岩佐 哲司 (ぎふ農業協同組合) 委 員 河尻 満 (岐阜商工会議所) 委 員 河野 秀明 (瑞穂市商工会) 委 員 黒田 隆 (岐南町商工会) 委 員 木野村 文男 (北方町商工会) 委 員 青木 輝泰 (本巣市観光協会) 委 員 大谷 磨 (笠松町国際交流協会) オブザーバー 塚原 雅巳 (岐阜県清流の国推進部市町村課管理調整監)
議事概要	委員からいただいた主な意見 ・羽島市が加わり構成市町が増えたことで、層が厚くなったことは喜ばしい。羽島市が加わることでKPIの数値がアップすることになる。事業の量が増えると、その中で質が高まっていくことがよくある。層が厚くなることで、結果、市民町民の利益に繋がるのではないかと思う。 ・福祉子育て分野で、皆様と協議できたらと思う。 ・全国的なマーケットなど、ある程度の規模があるところと商談をしていくには、1つの市町だけでは、先方の期待に対応できないケースが多い。一方、あまり大きくなると、薄くなってしまうので、岐阜連携都市圏は、一致団結してやっていくという上でも、ちょうどいい規模感ではないか。また、県にも関係していただくことが非常に重要だ。 ・隣接市町は、ほかにもあるので連携を検討していただければと思う。

- ・「4-4 歴史的資産を活用した観光誘客促進事業」には参加しないということであった。羽島市の観光施設や観光資源を見ると、歴史や文化に関わる資源がたくさんあるので、これにも参加していただき、取り組んでいったらどうかと思う。
- ・多くの地域で、連携できることは良いことだと、第一歩だと思っている。
- ・羽島市の国際交流協会など、各市町と交流が広がれば良い。
- ・羽島市が参加された良い機会に、観光関係者が集まれるような会議を立ち上げられると、大きな強みになると思う。
- ・より一層いろいろな情報交換ができれば良いと、大変歓迎させていただく。今後の展開を楽しみにしている。
- ・羽島には、新幹線岐阜羽島駅、高速道路の羽島インターがある。地域の入り口として、羽島市が加わったのは、大変有意義なことだと思う。
- ・各市町が、魅力ある力、特色というものを身につけていかないと、人口は維持できるかもしれないが、働く場所として、圏域から人が出てしまうことが心配だ。
- ・羽島市と旧柳津町、笠松町で平成13年に岐阜羽島道路建設促進協議会を作った。この道路の完成に向け皆様と共に、活動が展開できれば良い。
- ・教育の分野でも、5市3町の子供たちが、よりよい環境で、勉強に励み、地域の良いところを見つけあっていければ良い。